

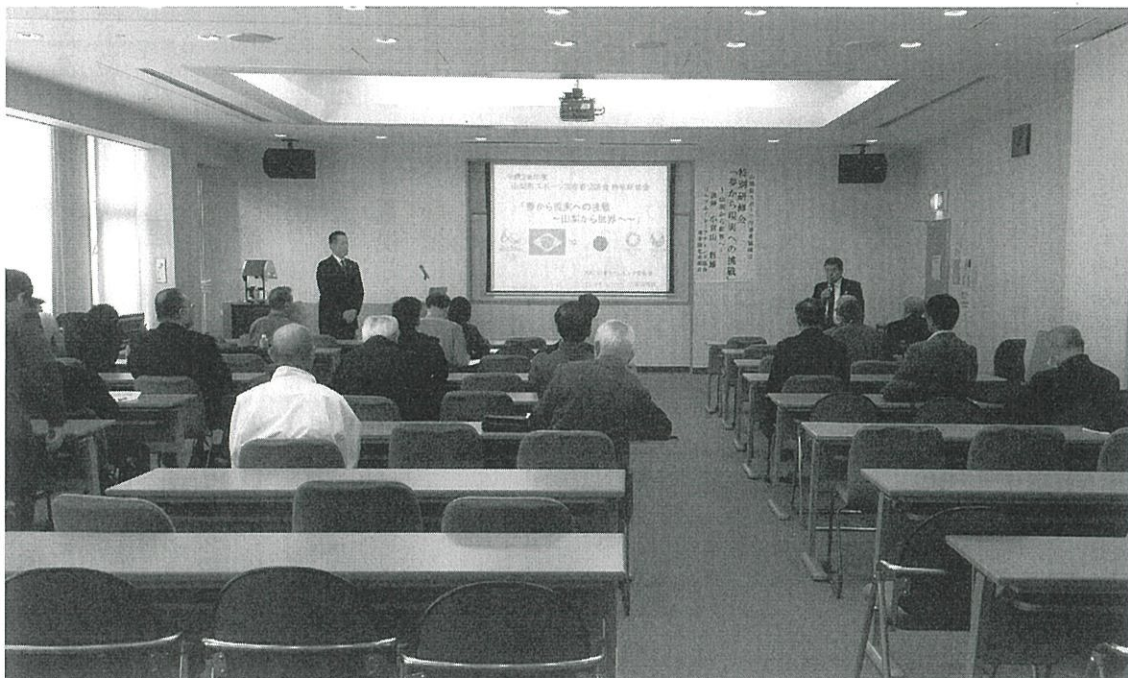
公益財団法人 日本体育協会公認
山梨県スポーツ指導者協議会

会報

第27号 (平成29年3月発刊)

目次

会長あいさつ	1
オリンピックの指導・育成	2
私を育ててくれた指導	3
研修会の報告	4~5
山梨県スポーツ指導者協議会表彰 ..	6
日本体育協会公認スポーツ指導者表彰 ..	7
事業報告・事業計画・あとがき ..	8



平成28年度山梨県スポーツ指導者協議会特別研修会 (H29.3.19)

あいさつ



会長 若尾 重 廣

- ・柔道コーチ
- ・空手道上級コーチ
- ・ジュニアスポーツ指導員
- ・アシスタントマネージャー

「スポーツは文化」でありスポーツを通じて「幸福で豊かな生活を営むこと」は、全ての人々の権利であるとした「スポーツ基本法」が施行され5年余「スポーツ文化」を担う公認スポーツ指導者の果たす役割は極めて重要であることは明白であり、スポーツに対する要求が多様化・高度化し、更に優秀な指導者が求められている。一方指導者の活動できる環境や体制づくりの遅れが課題となっている。

「スポーツは文化」であり、幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であるとした「スポーツ基本法」が施行され5年余「スポーツ文化」を担う公認スポーツ指導者の果たす役割は極めて重要であることは明白であり、スポーツに対する要求が多様化・高度化し、更に優秀な指導者が求められている。一方指導者の活動できる環境や体制づくりの遅れが課題となっている。

から受託し、運営している。ぜひ、このバンクに「登録」し活動の場を確保することを願いたい。

指導者協議会の目的は、常に最新の情報を得て、自己研鑽を積み「資質の向上」に努め会員相互の連帯感を深めることにあり、ゆえに、指導者は「学び続ける指導者」でありたいと肝に命じ「教えることは学ぶこと」をスローガンとして指導、道場生（小学2年生から62歳）にあたっている。

本県では、県体協が多様なニーズに応えられるよう指導者の活用を図ることを目的とした「スポーツ指導者バンク」を県教育委員会



「オリンピックの指導・育成」



山梨県立巨摩高等学校

陸上競技部顧問

小林直樹

平成28年6月25日、日本陸上競技選手権大会での400m障害優勝。野澤啓佑のオリンピック出場を確信した瞬間である。山梨にいても落ち着かず、愛知県瑞穂公園陸上競技場に足を運び、その瞬間を見届けることにした。優勝した時は思わず両手が天を突き刺していた。

高校時代の野澤啓佑は、入学当初から卒業まで変わらず謙虚さがあり、素直でもあった。誰からも好かれ、慕われていた。練習に対する姿勢も3年間変わることがなかった。誰よりも早くグラウンドに出て、ハードルを並べ練習の準備を黙々と行っていた。

巨摩高校陸上競技部員に

は、各自何をすべきか、また他人に対して何をしてくれるかなど、一人ひとりが考える自主性を重視した指導をしている。練習に対しても目的を持った練習をするよう指導している。野澤を例に挙げると、300mの走り込みでは、部員数が多いので幾つかのグループに分かれて走るが、初めの頃は先輩の後について走っていた。次第に先頭を走るようになった。そして、いっしょにグループの最後尾からスタートし、ゴールする時は先頭を走るというような工夫をしていた。また、400m障害の練習では、左右どちらの足でも踏みきれないと勝負出来ないの、徹底して逆足踏切の練習を



行った。他の生徒にも同じ指導を行っているが、根気強く練習し、体得することは難しかった。その時から他の部員は、野澤を特別視していたのかも知れない。

このような姿勢は、中学時代からしつかり身につけていたもので、中学校の先生方には本当に感謝している。さて、競技においても野澤は研究熱心であり、スタートから第1ハードルまでの45mを、またハードル間の35mを何歩で走るかなど常に研究していた。走力が上

がりつつある時期に、どうしても第1ハードルまでの足が合わなく悩んでいた時は、スタートラインを下げた指示をしたこともあった。現在の野澤は、第1ハードルまでの走りはほぼ安定しているが、全体の流れの中で、何台まで13歩で行き、どのタイミングで14歩、15歩に変えるかを当日の体調や競技場の条件で変えている。

最後に私自身、顧問として何人もの素晴らしい生徒に出会ってきたが、今回野澤の快挙はまさに教師冥利に尽きると言える。長く巨摩高校で陸上の指導をさせて頂いたことに感謝したい。これからも微力ではあるが情熱を持って指導していきたい。

野澤は夢であった五輪が目標に変わった。今度は東京大会でのファイナリストを目標に、夢のメダリストを目指してもらいたい。

「私を育ててくれた指導」



山梨県ウエイトリフティング協会
管吹市役所職員

中山陽介

大きな目標を達成するには、自己の努力以外にも様々な「運」が必要となる。環境やタイミングなどいくつかの要因があるが、その中で最も重要なもののひとつが「良い指導者との出会い」であると思う。入学する学校は選べるが、公立校で部活動の指導者を選ぶことは基本的にはできない。ましてや私は高校入学まで、その後15年間競技することになる、「ウエイトリフティング」というスポーツを全く知らなかった。このことから、私が日川高

校で恩師である武井多加志先生に出会えたことは、私にとって非常に幸運なことであつたと思う。武井先生の指導方法は、長年の経験と膨大な知識に裏付けられている。先生本人も30歳代半ばまで教員の傍ら競技を続けて、現役時代は全日本選手権での優勝や世界選手権出場など数々の輝かしい成績を残した。自身が成し

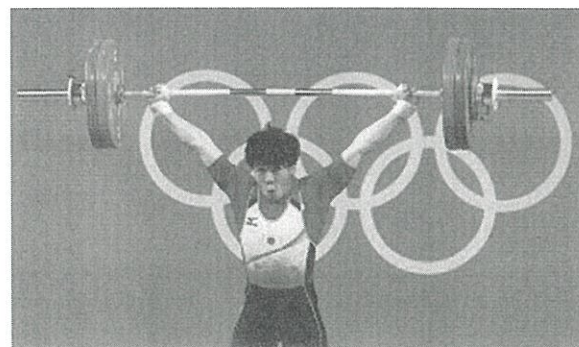
遂げられなかった夢を次の若い世代に託すため、今現在も日々指導力を磨いている。高いレベルでの競技経験があるからこそ、先生から発せられる言葉やアドバイスは強い説得力を持つ。社会人として、先生と同じように仕事と並行して競技を行っているが、その中で

はいくつものアップダウンを経験した。

仕事に追われ、競技に集中できずに記録が低迷していた時、先生は私を励ました。逆の結果が順調に出て、慢心しているときは厳しく接してくださったことで、常に高い目標を見失うことなく競技を続けられたのである。競技の技術的な指導に加え、正しい精神性を教えて頂いたことが、競技者、ひいてはひとりの人間としての成長に大きく寄与したことは間違いない。これまで関わってきた他の指導者は、練習時間内での競技指導は熱心に行うが、私生活や生活態度まで踏み込んで関わってくることはほとんどなかった。平凡な日常の中で正しい生活を継

続することこそ最も大事であることを、武井先生は自らの経験を持って指導してくださいました。

私も選手引退後は指導者として若手選手の育成をしたいと考えている。その中で、武井先生が行ったように、オリンピック出場という貴重な経験を活かし、いつかメダリストを輩出できるように尽力していきたい。



研修会の報告

「第二回スポーツ指導者 研修会に参加して」

甲府支部

遠藤 貴美恵

(スケート指導員)



平成28年6月11日(土) 小瀬武道館に於いて総会と共に指導者研修会が開催されました。

講演ではI「スポーツ指導者のあり方を考える」と題して講師に戸澤智紀先生(富士河口湖町立大嵐小学校校長)とII「スポーツパフォーマンスの向上におけるトレーニングの必要性」と題し講師に岡田隆先生(日本体育大学准教授、JOC強化スタッフ(柔道・

水泳)をおむかえして行われました。

講演Iでは戸澤先生がまず教育現場の実情を話されました。教育基本法に基づいて心身とも人格の完成を目指すのが教育。仕事だけ出来てもやさしいだけではお人よしだけでもだめで、仕事の能力と心の要素が整っている知育・徳育・体



育等人間性を高める事が大事です。

教育現場からどのような指導者がいいのかというと、よくわかるように説明し、教師自身がやってみせ、子供の心に火をつけるとよい。教育とは技術を高めること、良い事と悪い事をしつかり教える。やればできるはだめで、やれば伸びるがよい。教育とは引き出すことで背負えない荷物は背負わせない。自分の夢は持ち続けられるようにする。人間は夢を描いて進歩することが出来る。過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる。確かにこの様なしつかりとした考えの指導者である事がとても大事な事と思われるます。

どういいう指導者がいるかで、子供の伸び方は本当に違ってくると思います。講演IIでは岡田先生が筋トレの必要性を話されました。総合的に鍛えていく事

は必要ですし筋肉で勝敗が決まるわけではないのですが、スピードを出す為や力を出す為には筋力が必要と話されました。

「第二回スポーツ指導者 研修会に参加して」

笛吹支部

間 瀬 正 次

(バレーボール指導員)



第一部

笛吹市スコレーセンターに於いて戸澤先生の講演で「指導者の在り方を考える」学校は託児所ではない、一常識を強要することはできない。人間は人間らしく育てる、人間は万物の成長霊妙なものを持っている。又、想像力夢を描いて実現することが大切である、一人一人の人間として接して行く

上で心の能力を高める指導者になって行かなければいけない。私たちもやる気を出させることを気遣い「マンネリ化」しないよう変化のある内容を心がける指導者を目指し今回の研修を大切に実行していきたいと思

います。

第二部 JOC強化スタッフの岡田先生の講演で「スポーツパフォーマンス向上に対するトレーニングの必要性」について先生の体験実績が話され、リオ・オリンピック日本柔道・水泳の強化としてのトレーニングが必要なことフィジカル、メンタルの大切さから逃げると戦えない事又、海外の人との違いは強さ・スピードが優れている、そこでトレーニングの中で「ながら」トレーニングはよくない事、体力要素に一つ一つに絞って効率よく強化していく事の大切さが話された。私たち指導者も先を見過ぎてしまい

複合的練習にとられすぎ
る事に気付きました。講演
で得られた事を今後実施し
て行きます。

「第三回スポーツ指導者 研修会に参加して」

峡北支部

小沢 健 司

(ソフトボール指導員)

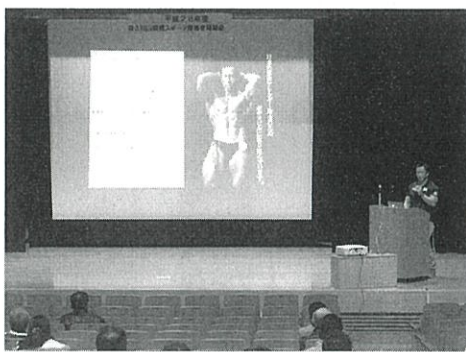


第一部は、戸澤智紀先生
の講演だった。小学校の校
長先生として活躍されてい
る方で、ご自身の教職経験
で培われた「指導者に必要
な考え方」を、様々な切り
口から話してくださいました。
とかく指導者は、勝負にこ
だわり技術を詰め込もうと
しがちであるが、先生のお
話の多くは、心に関するこ
とや選手の主体性を大切に

した指導内容だった。指導
者自身も自己の人間性を磨
き、選手の手本とならなけ
ればならない。「最高の教師
(指導者)は、子ども(選
手)の心に火をつける...」
先生のその一言が特に印象
に残っている。先生と同じ
教職に就く私にとって、大
切にしていきたい言葉の一
つとなった。

第二部は、「スポーツパ
フォーマンスの向上におけ
るトレーニングの必要性」
と題し、JOC強化スタッ
フである岡田隆先生の講演
を聴いた。先生はメディア
に数多く出演され、オリン
ピックのスタッフとしても
実績をあげられた方で、話
の引き出しが多くユーモア
を交えた講演で、楽しく学
ばせていただいた。指導者
として、安全で効果の高い
トレーニング方法の習得は
不可欠で、発達段階や個人
差に応じた指導を行うこと、
また睡眠や食事、メンタル
の面からも選手をサポート

することなど、様々な視点
から指導を行うことの必要
性を再認識することができ
た。二名の先生方、ありが
とうございました。



「山梨県スポーツ指導者 協議会特別研修会に 参加して」

甲府支部

秋山 岳 人

(バレーボール指導員)



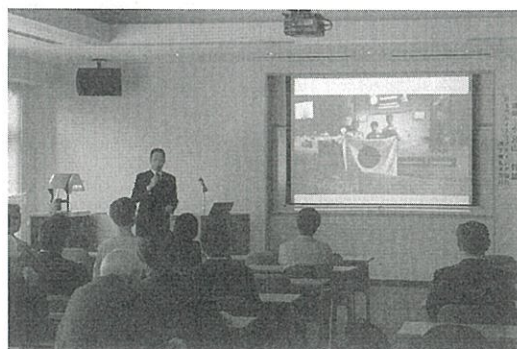
私にとって高校時代の恩
師であり、現ウエイトリフ
ティング日本代表監督の
「小宮山哲雄先生」の話を
聞くことができ、改めて指
導者としての姿勢を考え直
すきっかけになりました。
特に印象に残っている言
葉は、「指導者が学ぶこと
を止めたら成長しない」で
あります。自分の経験だけ
で指導することは自己満足
であり、選手は満足してい
ないことに気づかされまし
た。



また、他の競技にも効果
のあるトレーニング種目の
紹介もして頂き、私の指導
しているバレーボールに直
結する内容で、とても勉強
になりました。

講義の最後には、リオオ
リンピックの経験談を映像
を交えて話をして頂き、世
界のトップを身近に感じる
ことができました。

先生の言葉は一つ一つに
説得力があり、私にとって
忘れられないものとなりま
した。日々実践し、指導現
場に活かしていきたいと思
います。



平成二十八年 度

「山梨県スポーツ指導者協議会表彰」

指導者



吉岡 妙子 (卓球指導員)



乙黒 美佐枝 (バレーボール指導員)



上田 たまき (卓球指導員)



細田 正子 (ソフトテニス指導員)



二宮 寛美 (山岳上級指導員)

山梨県スポーツ指導者協議会

表彰を受賞して

峡南支部 監事 二宮 寛美 (山岳上級指導員)

私は昭和48年から山梨県高等学校体育連盟登山専門部の一員として退職までの38年間高校生を指導しました。その間、山梨県開催のインターハイ運営を2回と、かいじ国体の競技力強化に、どっぷり関わりました。

平成7年西八代支部設立から、平成20年峡南支部設立、そして現在まで微力ながら活動してきました。これまで十数回、登山教室を開催し、峡南地域の多くの山々を踏破しています。汗を流しながら登山をし、頂上で爽快な展望を眺め、美味しい昼食、そして楽しい交流会等、ひとつひとつが心に残る思い出です。参加者からは次回への強い要望がいつもあり、主催者側としては大きな喜びです。

これからも、峡南支部の素晴らしい役員の方々と共に活動し、



地域の人々に、元氣と幸せと感動を与え続けていきたいと思えます。

平成二十八年 度

「公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰」

功勞表彰



二宮 寛美

(山岳上級指導員)



細田 正子

(ソフトテニス指導員)



乙黒 美佐枝

(バレーボール指導員)



吉岡 妙子

(卓球指導員)

日本体育協会
公認スポーツ指導者表彰を受賞して

峡中支部 吉岡 妙子

(卓球指導員)

この度、平成28年度公認スポーツ指導者表彰を受賞させて頂き恐縮の念で一杯である。推薦下さった関係機関の皆様のお陰と心より感謝申し上げる。かいじ国体に向けて先輩から審判の猛特訓を受け、大会成功が契機となり指導者の道を志し、卓球協会の主催する講習会や大会運営、レディース部の指導に携わってきた。生涯スポーツとして、又、病院ではリハビリに利用されている、中高年に人気の高いラージボール卓球。その普及と共にクラブを立ち上げ指導を続けているが、健康寿命を引き上げる手助けとなるなら嬉しい限りである。

全国研修会では、「スポーツ人間教育」をメインテーマとして為末大氏の「セルフコーチング

(自分の育て方)」について学んだ。各種指導者講習会を受講する中で、他競技の指導者の方との連携や情報交換は私を指導者として大いに成長させてくれる。常に学ぶことを忘れずに、指導者としての立場を再認識しながら、これからも活動を続けていきたい。



平成28年度山梨県スポーツ指導者協議会事業報告

年	月日 (曜日)	事業名	会場等
平成28年	4月9日 (土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬中銀スタジアム 他
	4月20日 (水)	平成27年度 会計監査	小瀬管理事務所会議室
	5月13日 (金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	5月18日 (水)	第1回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月11日 (土)	平成28年度 山梨県スポーツ指導者協議会総会 及び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	7月15日 (金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	7月20日 (水)	第2回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月24日 (土)	第2回研修会	笛吹市スコレーセンター
	11月11日 (金)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月16日 (水)	第3回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	12月9日 (金)	平成28年度全国スポーツ指導者連絡協議会	東京フォーラムエイト
	12月10日 (土)	平成28年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	東京都
平成29年	2月11日 (土)	第3回研修会	須玉農村総合交流ターミナル ホール
	2月24日 (金)	第4回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	3月1日 (水)	第4回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月19日 (日)	特別研修会	小瀬武道館第1会議室
	3月31日 (金)	会報第27号発刊	

平成29年度山梨県スポーツ指導者協議会事業計画

年	月日 (曜日)	事業名	会場等
平成29年	4月8日 (土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬中銀スタジアム 他
	4月19日 (水)	平成28年度 会計監査	小瀬管理事務所会議室
	5月12日 (金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	5月17日 (水)	第1回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月10日 (土)	平成29年度 山梨県スポーツ指導者協議会総会及 び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	7月14日 (金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	7月19日 (水)	第2回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月	第2回研修会	未定
	11月	関東ブロックスポーツ指導者協議会 研修会	未定
	11月10日 (金)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月15日 (水)	第3回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	未定 (11月頃)	特別研修会	未定
	12月8日 (金)頃	平成29年度全国指導者連絡会議	東京都
	12月16日 (土)	平成29年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	東京都
平成30年	2月	第3回研修会	未定
	2月23日 (金)	第4回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	2月28日 (水)	第4回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月31日 (土)	会報第28号発刊	

あ
と
が
き

会報は協議会の活動
等を会員の皆様にお伝
えするための会報で
す。会員の皆様から活
動等の情報がありまし
たら、事務局にお寄せ
下さい。

編集：広報普及部

発行元

山梨県スポーツ指導者協議会

〈事務局〉

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町 840

公益財団法人 山梨県体育協会内

TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599